



エネルギーを新しい時代へ

2021年度第3四半期連結決算について

(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。
「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。

2022年1月28日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2021/3Q(A)	2020/3Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	28,537	19,531	9,005	46.1
営業利益	793	2,720	▲1,927	▲70.8
経常利益	557	2,846	▲2,289	▲80.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184	1,965	▲1,781	▲90.6
(参考) 期ずれ除き四半期純利益	2,283	641	1,641	256.0

連結貸借対照表

(億円)

	2021/3Q(A)	2020年度末(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	63,900	40,908	22,991	56.2
負債	45,204	23,287	21,917	94.1
純資産	18,695	17,621	1,074	6.1
有利子負債残高	25,213	16,132	9,080	56.3
自己資本比率(%)	27.5	41.2	▲13.7	

決算のポイント

【売上高】

- 販売電力量の増加に加え、JERA Global Markets（以下、JERAGM）の売上増などにより、**前年同期比9,005億円増（46.1%増）の2兆8,537億円**

【純利益】

- 純利益は、**前年同期比1,781億円減（90.6%減）の184億円**
期ずれ除き利益は大幅に増加した（+1,641億円）ものの、期ずれが差益から差損に転じた（▲3,422億円【1,324億円→▲2,098億円】）ことにより、減益となった
- 期ずれ除き利益は、**前年同期比1,641億円増の2,283億円**
海外発電事業における減損（▲326億円）や固定資産の減損（▲162億円）があったものの、前年同期のコロナ影響反動（+288億円）、JERAGM利益増（+612億円）、LNG売却関連益（+360億円）等により大幅増益となった

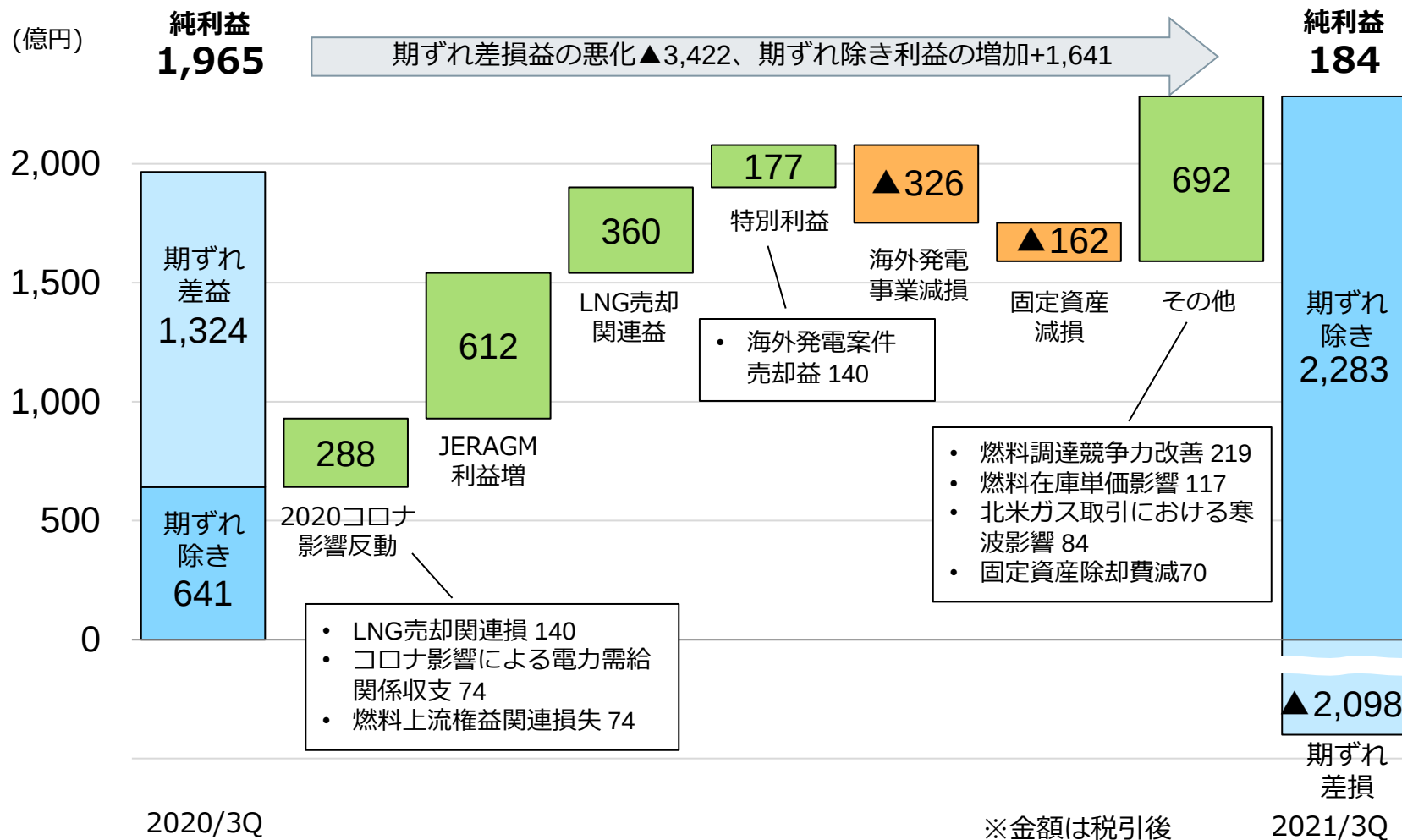
※自己資本比率について

- 燃料トレーディングを営む子会社（JERAGM）において、仕入・売上双方に現物取引・ファイナンシャル取引*といった取引契約を活用しており、その未決済残高時価を「デリバティブ債権・債務」として計上している。
資源価格高騰を受け、当四半期末のデリバティブ債務の増加に応じてデリバティブ債権も増加したことにより自己資本比率が低下したものの、実質的なリスク対応力は低下していないと評価している。

*シンガポール会計基準上デリバティブとされる

連結純利益の変動要因

- 海外発電事業減損および固定資産減損は発生したものの、前年同期のコロナ影響反動、JERAGM利益増等により期ずれ除きで大幅増益



連結収支比較表

(億円)

	2021/3Q(A)	2020/3Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	28,537	19,531	9,005	- 販売電力量の増加 - JERAGM売上増
営業費用	27,743	16,810	10,932	- 燃料費の増加 - JERAGM費用増
営業利益	793	2,720	▲1,927	
営業外収益	79	203	▲123	
営業外費用	316	78	238	持分法投資損失 218
経常利益	557	2,846	▲2,289	- 期ずれ差損益 ▲4,753(1,839→▲2,914) - 期ずれ除き利益の増 +2,464(1,007→3,471)
特別利益	235	-	235	海外発電案件売却益 195
特別損失	228	57	171	国内火力発電設備減損損失 228
法人税等	▲87	725	▲812	
非支配株主利益	467	98	368	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184	1,965	▲1,781	

	2021/3Q(A)	2020/3Q(B)	増減(A-B)
販売電力量（億kWh）	1,832	1,764	68
原油価格(JCC) (\$/b)	74.0	39.1	34.9
為替レート (円/\$)	111.1	106.1	5.0

※2021/3Qの原油価格は速報値

連結貸借対照表

(億円)

	2021/3Q(A)	2020年度末(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び預金	6,084	6,161	▲76	
有形固定資産	21,065	20,100	965	・国内火力リプレースの進捗
投資有価証券	7,395	5,594	1,801	・新規案件出資
その他	29,354	9,053	20,301	・デリバティブ債権増 (JERAGM等) +11,505
資産合計	63,900	40,908	22,991	
有利子負債	25,213	16,132	9,080	・借入金 +5,430 (子会社 +3,553) ・CP +2,950 ・社債 +700
その他	19,991	7,154	12,836	・デリバティブ債務増 (JERAGM等) +10,042
負債合計	45,204	23,287	21,917	
株主資本	16,819	16,969	▲149	・株主への配当 ▲334 ・四半期純利益 +184
その他	1,875	651	1,224	・為替換算調整勘定 +541
純資産合計	18,695	17,621	1,074	
自己資本比率(%)	27.5	41.2	▲13.8	・デリバティブ債権・債務双方が増加したことによる低下等

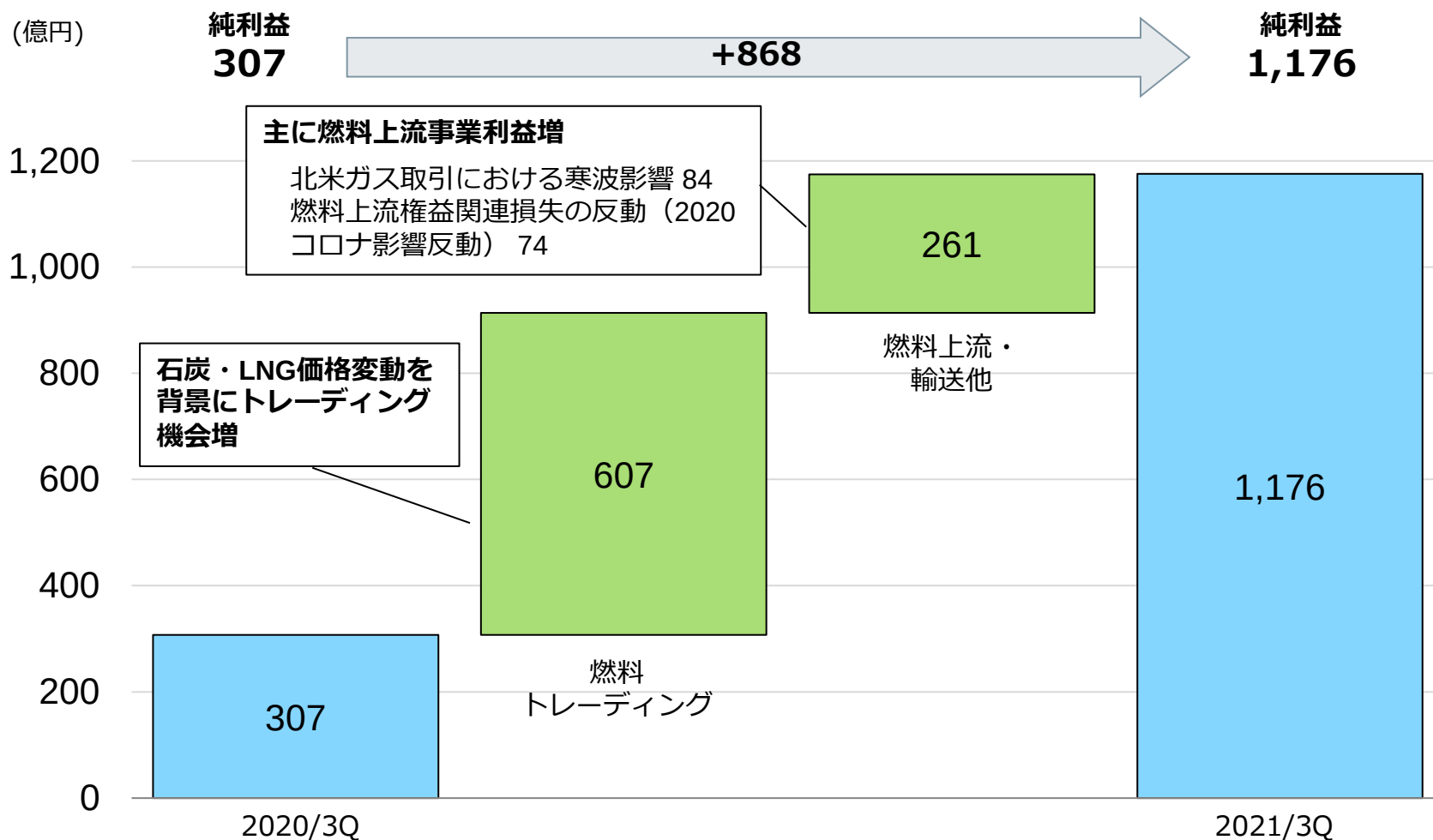
(億円)

	2021/3Q(A)		2020/3Q(B)		増減(A-B)		主な純利益(期ずれ除き) 増減要因
	売上高	純利益 (期ずれ除き)	売上高	純利益 (期ずれ除き)	売上高	純利益 (期ずれ除き)	
燃料事業※	19,802	1,176	6,137	307	13,665	868	•JERAGM利益増 +612 •北米ガス取引における寒波影響 +84 •2020コロナ影響反動 +74
海外発電事業	24	▲109	16	51	8	▲161	•減損損失（フォルモサ2） ▲326 •案件売却益 +140
国内火力・ガス事業	20,318	▲599 (1,499)	17,758	1,901 (577)	2,559	▲2,501 (921)	•2020コロナ影響反動 +214 •LNG売却関連連益+360 •固定資産減損▲162 •燃料調達競争力改善 +219 •燃料在庫単価影響 +117 •固定資産除却費減 +70
調整額	▲11,607	▲282	▲4,380	▲295	▲7,227	12	
連結財務諸表計上額	28,537	184 (2,283)	19,531	1,965 (641)	9,005	▲1,781 (1,641)	

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング

連結純利益の変動要因（燃料事業）

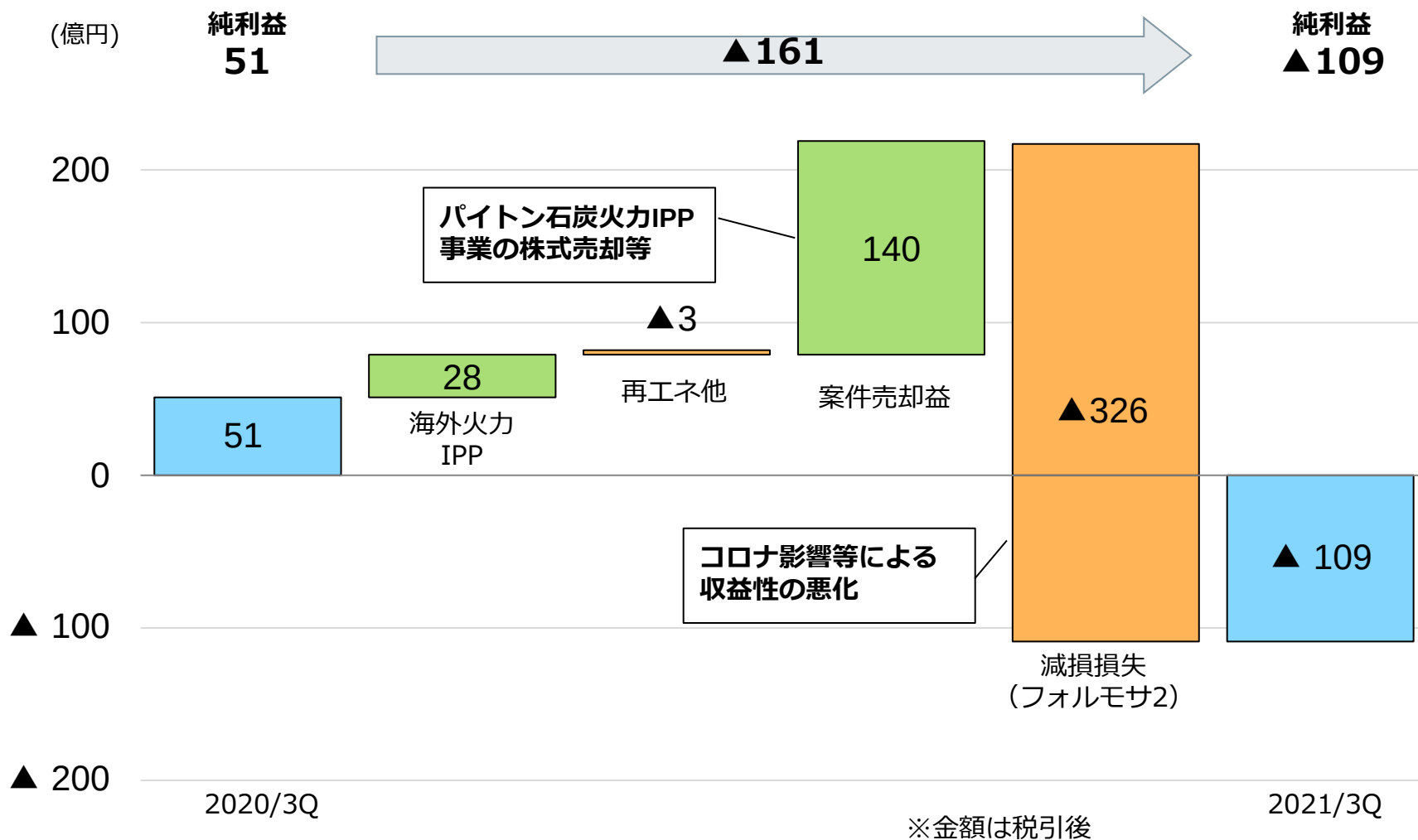
■ 燃料トレーディングおよび燃料上流が大幅増益



※金額は税引後

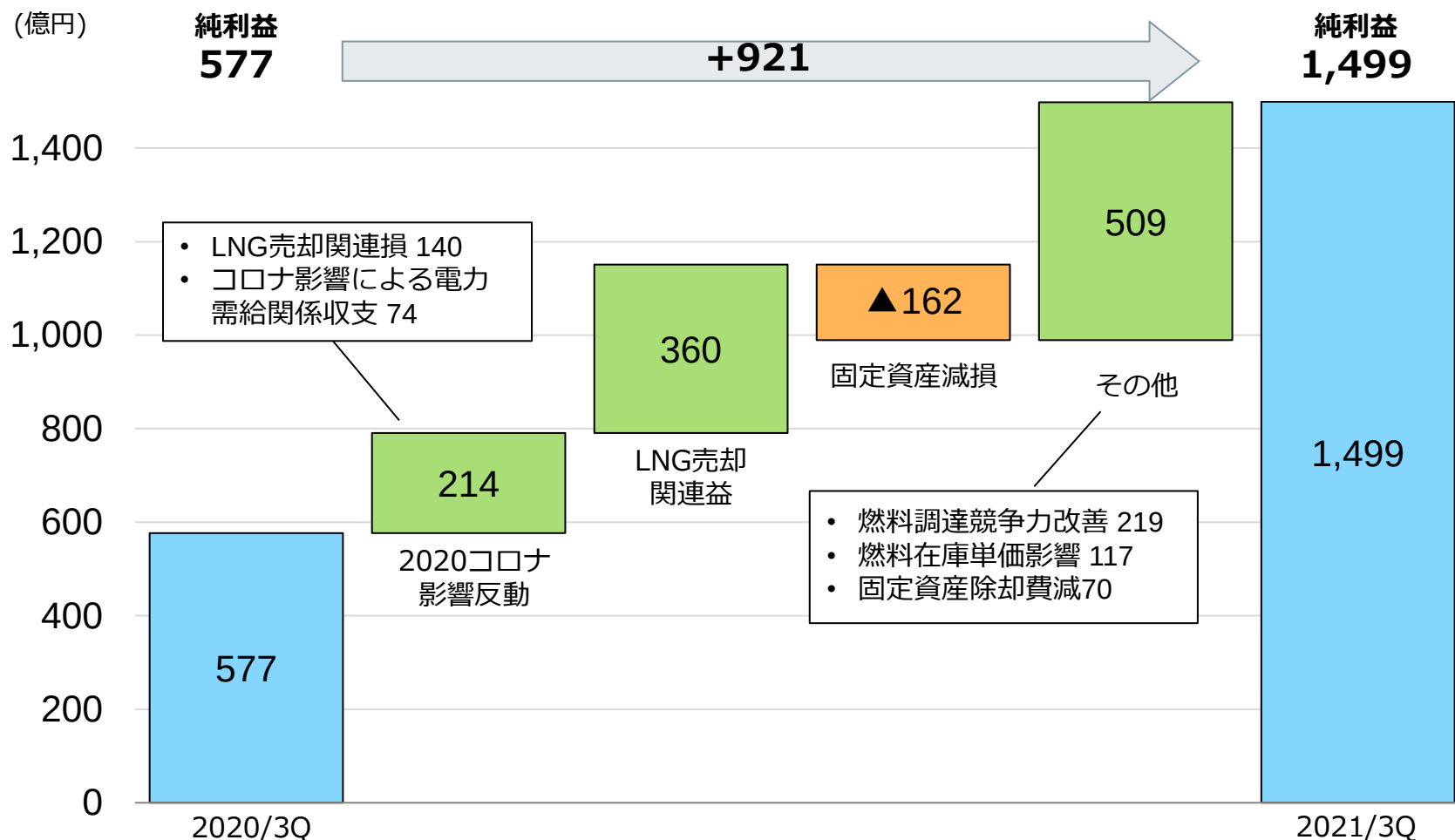
連結純利益の変動要因（海外発電事業）

- パイトン案件等の売却益はあったものの、フォルモサ2の減損損失により減益



連結純利益*の変動要因（国内火力・ガス事業）

- 前年同期のコロナ影響反動、LNG売却関連益等により期ずれ除きで大幅増益

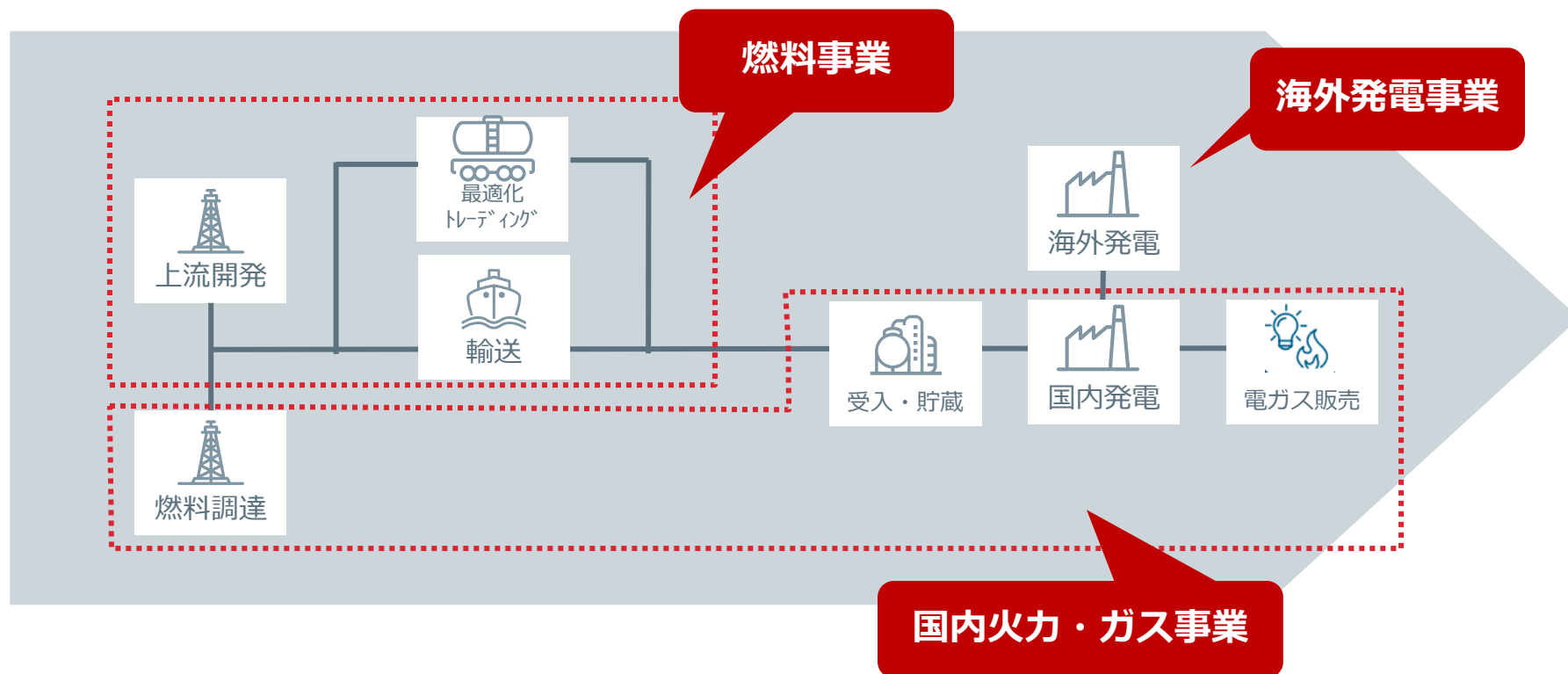


*期ずれ影響除く、金額は税引後

(参考) バリューチェーンとセグメント区分

11

- 燃料上流（ガス田の開発）から、燃料輸送、燃料貯蔵（燃料基地の運営）、発電、卸売まで、燃料・火力のサプライチェーン全体を保有。
- セグメントとして、燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行う「燃料事業」、海外の発電事業等への投資を行う「海外発電事業」、国内における電力・ガスの販売などを行う「国内火力・ガス事業」に区分している。



2021年度業績見通し

12

- 純利益予想は、前回（2021/2Q）公表から変更なく0億円。
- うち、期ずれ除き利益は、JERAGMの利益増加（+200億円程度）やLNG売却関連益等（+300億円程度）により、前回予想から+500億円の2,000億円と想定。

(億円)

	今回予想 (A)	前回（2021/2Q） 予想(B)	増減(A-B)	増減率(%)
純利益	0	0	0程度	-
(内訳)期ずれ差損益	▲2,000	▲1,500	▲500程度	-
期ずれ除き利益	2,000	1,500	500程度	33.3

【参考：前年度実績との比較】

(億円)

	今回予想(A)	2020年度実績(B)	増減(A-B)	増減率(%)
純利益	0	1,578	▲1,580程度	-
(内訳)期ずれ差損益	▲2,000	462	▲2,460程度	-
期ずれ除き利益	2,000	1,116	880程度	78.9

【主要諸元】

	今回予想	(うち1~3月)	前回(2021/2Q)予想	【参考】2020年度 実績
原油価格(JCC) (\$/b)	75程度	(80程度)	73程度	43.4
為替レート (円/\$)	112程度	(115程度)	110程度	106.1

参考情報

(参考) 原油価格・為替レートへの純利益感応度

【国内火力・ガス事業】

(億円)

原油価格 (1\$/b上昇)		収益影響額
		1～3月
変動時期	1月以降	0

1月以降、原油価格が変動した場合でも、
1～3月への収支影響は軽微

(億円)

為替レート (1円/\$円安方向)		収益影響額
		1～3月
変動時期	1月以降	▲30

1月以降、為替が1円/\$円安方向に変動した場合、
1～3月の収支は30億円程度悪化する

【燃料事業・海外発電事業】

(億円)

原油価格 (1\$/b上昇)		収益影響額
		1～3月
変動時期	1月以降	+1

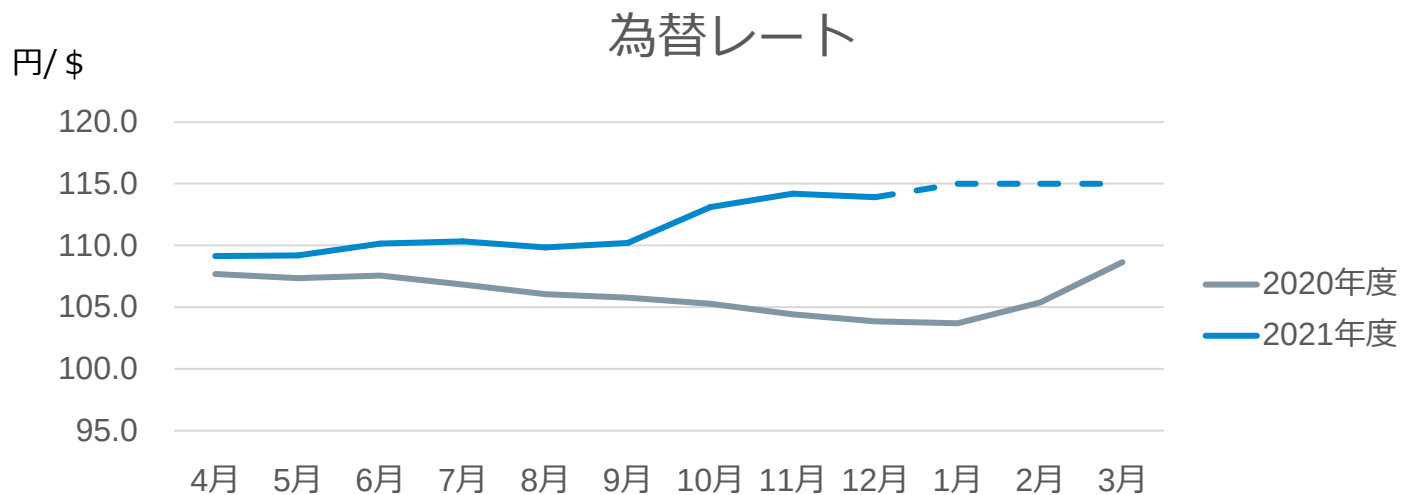
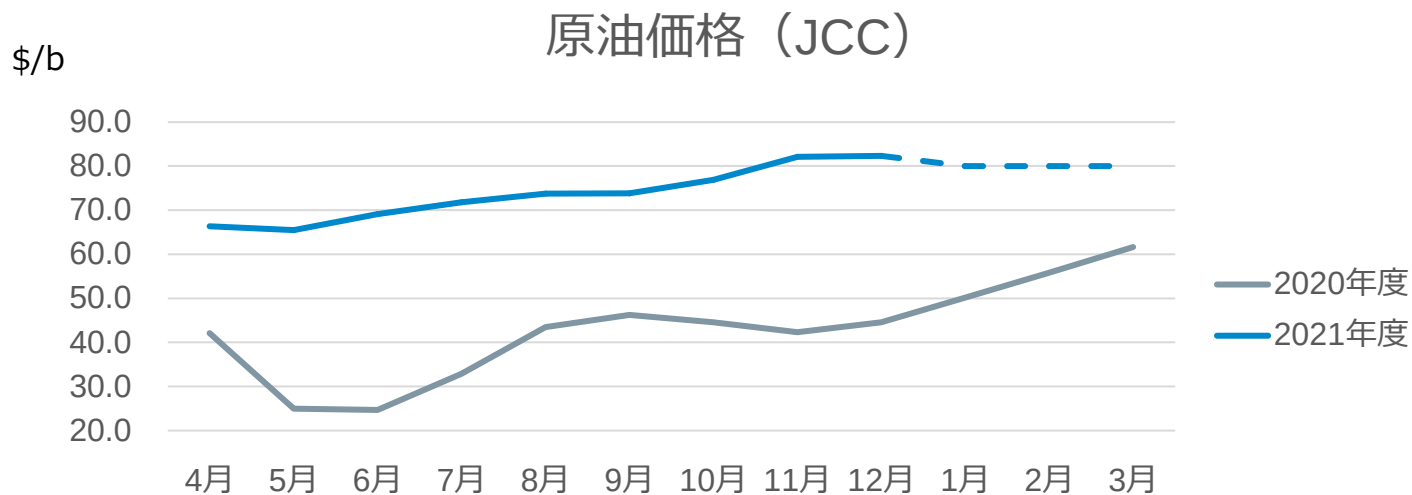
1月以降、原油価格が1\$/b上昇した場合、
1～3月の収支は1億円程度向上する

(億円)

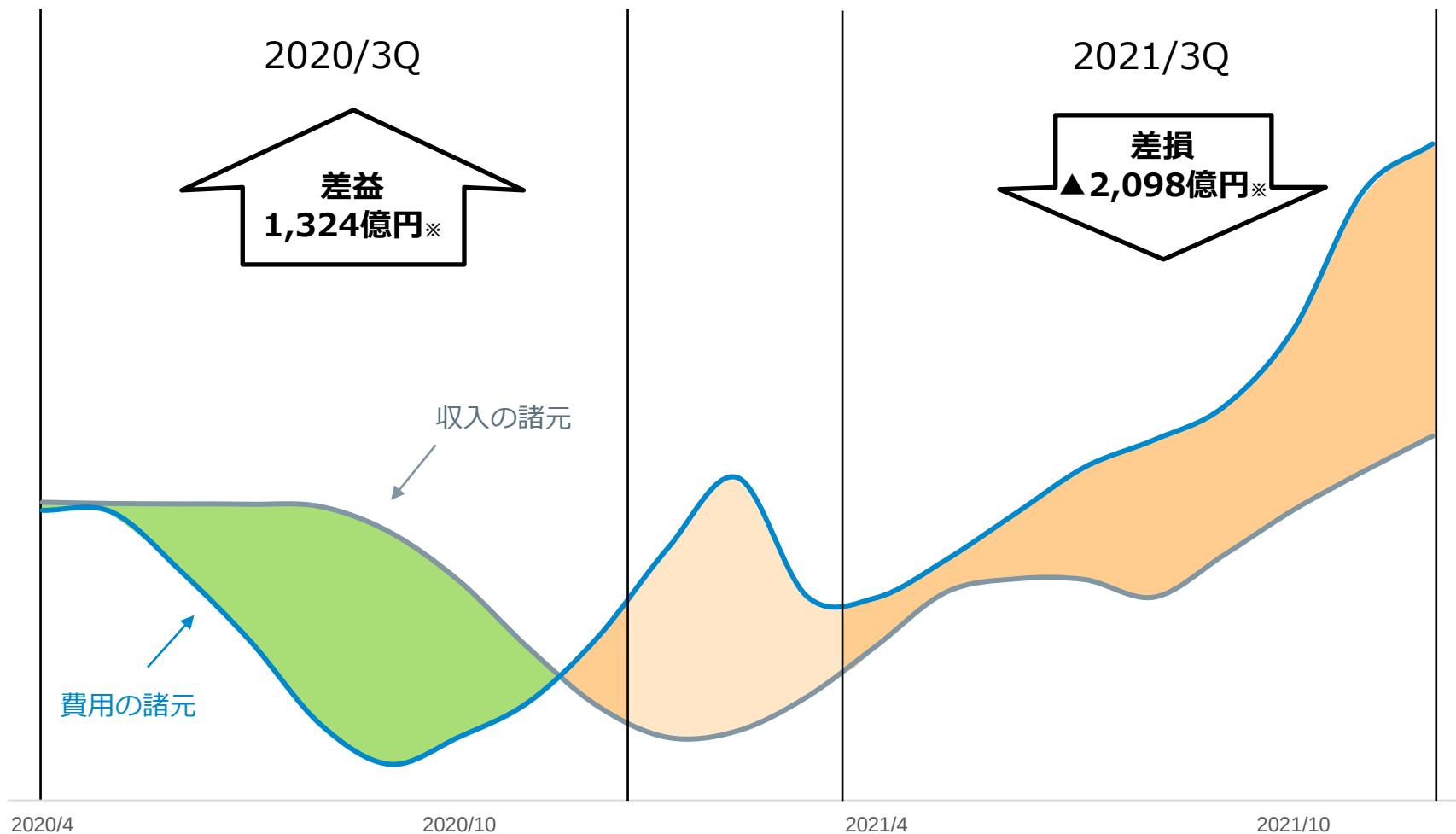
為替レート (1円/\$円安方向)		収益影響額
		1～3月
変動時期	1月以降	+1

1月以降、為替が1円/\$円安方向に変動した場合、
1～3月の収支は1億円程度向上する

(参考) 原油価格・為替レート推移

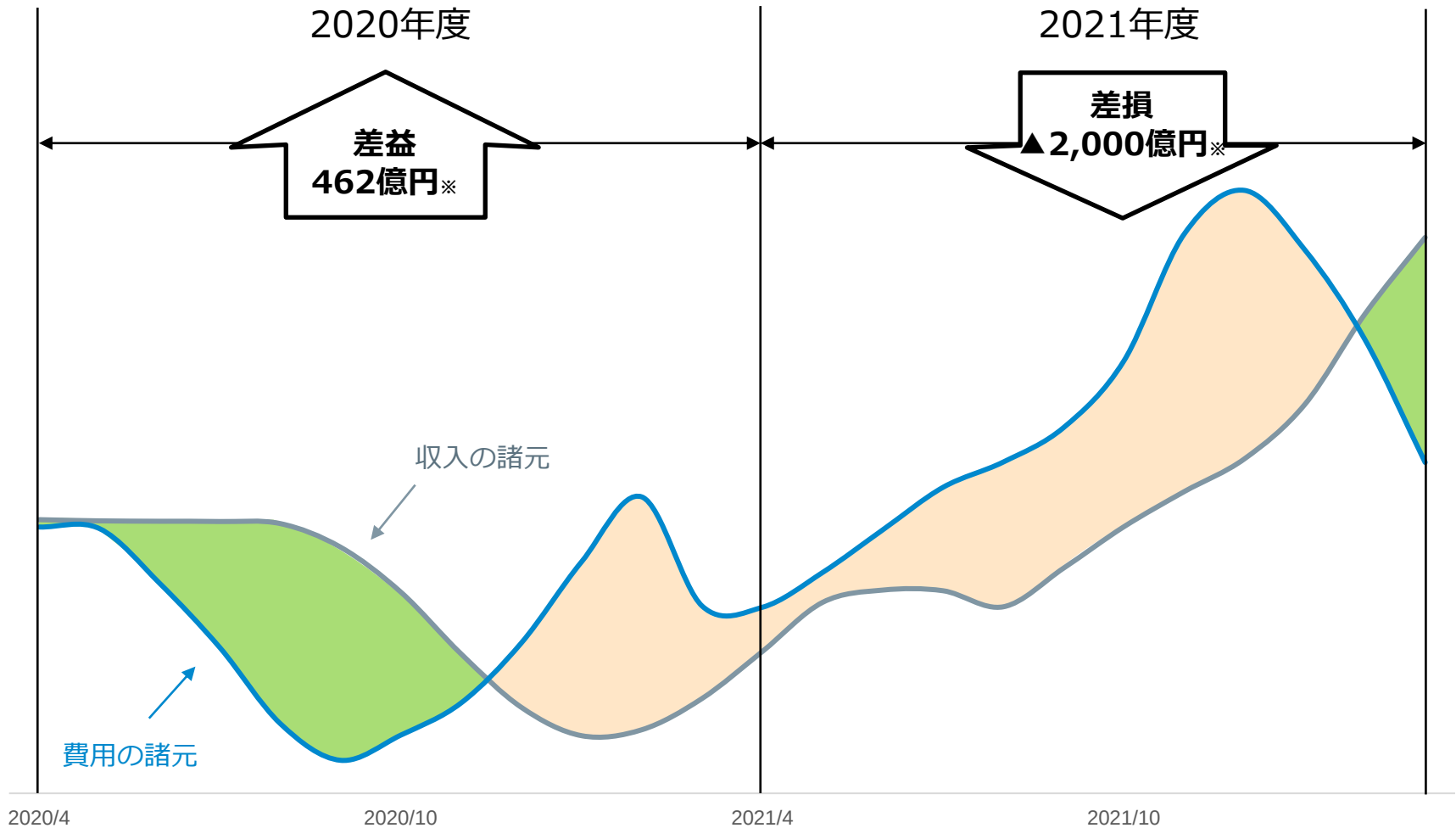


期ずれ影響のイメージ (2020/3Q – 2021/3Q)



※金額は税引後

期ずれ影響のイメージ（通期見通し）



※金額は税引後

販売電力量・発電電力量の推移

【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10～12月	3Q(4～12月)
2021年度	537	646	649	1,832
2020年度	475	624	665	1,764

【発電電力量（億kWh）】

		4～6月	7～9月	10～12月	3Q(4～12月)
2021年度		534	617	623	1,774
	LNG	412 (77%)	468 (76%)	484 (78%)	1,364 (77%)
	石炭	122 (23%)	149 (24%)	138 (22%)	409 (23%)
	重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
2020年度		470	617	660	1,747
	LNG	384 (82%)	529 (86%)	545 (83%)	1,457 (83%)
	石炭	87 (18%)	88 (14%)	115 (17%)	289 (17%)
	重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

※四捨五入の関係で合計は一致しない

【発行体格付けの推移】

